

県指定 重度訪問介護従事者養成研修

障害当事者から学ぶ

現場から学ぶ!

# が☆カイジョ

**重度訪問介護とは?**...地域生活をする、外出をして社会参加する、常時介助を必要とする障害者に対して、身体介助・家事介助・外出時の介助・待機（見守り）などを総合的に行うサービスです。障害者の意思・ペースを重視し、介助者の助けを受け、障害者が自己決定・自己選択・自己責任を基本とし、障害者が自分自身を育てていくものです。一緒に話したり行動する中で、障害者・介助者が高齢者の介護保険とはまた違った自立を学べる研修です。

## あなたもできる 'はじめの一步' Let's Try! 基礎コース

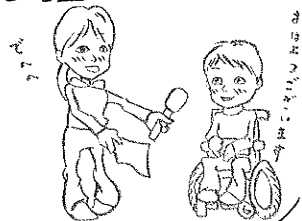
【日時】2017年 6月24日(土) 9:00~17:00  
サンシップとやま 701号室  
2017年 6月25日(日) 9:00~17:00  
富山県民会館 706号室実技及び外出実習

【参加費】2,500円(2日目実習時昼食代・  
交通費含む)

## 医療的ケアや介助が日常的な人の暮らし Let's Imagine! 追加コース

【日時】2017年 7月1日(土) 9:00~18:00  
サンシップとやま 703号室

【参加費】1,500円



### ★目的

外出も含め日常的に介助が必要な重度障害者の自立支援を支える人材を養成するため、またなかなか付き合うきっかけが少ない障害者と健常者の交流・相互理解を促進するためにこの研修を開講します。

### ★受講対象

対象者は障害者の自立生活と社会参加に関心のある方（高校生以上）です。ホームヘルパーの有資格者は資格要件を既に満たしています。「障害当事者に学ぶ、現場に学ぶ」ことに関心のある方にお勧めです。

### ★取得資格

基礎コースの受講で重度訪問介護従業者の資格が取得できます。なお、障害程度区分6の方の介助には追加コースの受講が必要です。また、この資格で全身性障害者の移動支援のヘルパーとして活動できます。

主催: NPO 法人 文福 

後援: 富山県 富山市 賛同団体: 富山YMCA・デイケアハウスにぎやか・CIL富山

〒930-0887 富山市五福3734-3

電話・FAX (076)441-6106

メール [bunpuku@arrow.ocn.ne.jp](mailto:bunpuku@arrow.ocn.ne.jp)

HP アドレス <http://bunpuku.org/>

裏面にか/キョラムが記載されています



# ザ☆カイジョ カリキュラム内容

## ★基礎コース ~Let' try! あなたもできる、はじめの一步~

日程	科目名	内容	時間	必修	種別	講師
6月24日(土)	オリエンテーション	開講にあたって	9:00~9:15			文福事務局
	重度身体障害者の地域生活自立と社会参加	<b>【障害者のエンパワメントと介助】</b> 重度身体障害者として地域で自立生活を始めて30年。介護と介助の違いに、病気と障害の違いや制度と現状等。	9:15~10:15	1h	講義	文福理事長 八木勝自
		<b>【障害者の社会参加と地域】</b> 障害者の定義の変遷、障害者が地域で生きる意味、これからの福祉について考えます。	10:25~11:25	1h		
	基礎的な介護技術	<b>【介助をするときの心構え】</b> 介助の利用者であり提供側でもある管理者から、介助の基本原則を自身の経験からお話します。	11:35~12:35	1h		文福管理者 福田文恵
	人権について考えよう	<b>【障害当事者による自立生活支援とは】</b> 当事者主権・当事者支援のCILの活動について。現場から見た問題や現状。	13:40~14:40	1h		CIL富山理事長 平井誠一
	基礎的な介護技術	<b>【自立生活はまず家事から】</b> 重度障害者といえば身体介護と思われがちですが、障害者の指示で家事を行うことということが自立生活の基本です。	14:50~15:50	1h		障害者スタッフ 日下正秀・河上千鶴子
実習オリエンテーション	各スタッフ・受講生の紹介、各講師からの補足、受講者からの質問や感想を座談会形式で行います。その後実習の班分け・コースの確認。	16:00~17:00				文福事務局
6月25日(日)	基礎的な介護とコミュニケーション技術及び外出時の介護技術に関する実技	<b>【基礎的な介護技術を身に付けよう！1】</b> ボディメカニズムの紹介・体位交換・衣類の着脱、排泄等基礎的な介護技術	9:00~11:00	2h	演習	文福スタッフ 日下・吉田彰
		<b>【基礎的な介護技術を身に付けよう！2】</b> 車イスへの移乗・車イスの取り扱い・移動介助時の注意等	11:10~12:10	1h		
		<b>【障害者と共にまちへでよう！】</b> 食事介助をしながら実際に車イスを押して障害者と外出します。階段・公共機関の利用・ショッピング等	12:30~17:00	4h	実習	文福スタッフ ヘルパー・障害者

## ★追加コース ~Let' s imagine! 医療的ケア・介助が日常である人の暮らし~

日程	科目名	内容	時間	必修	種別	講師	
7月1日(土)	医療的ケアを必要とする利用者の障害及び支援	<b>【重い障害ってどんな種類の障害があるのだろう?】</b> 障害や支援について理解したり気をつけてくれたら、医療的ケアの必要な人も普通に生活できます。	9:00~10:00	1h	講義	富山病院・OT 浅生弘美	
		<b>【重い障害のある人が生きやすい社会は誰もが生きやすい社会】</b> 医療的ケアや介助が日常的な人達の生活を具体的にイメージしてみよう。	10:10~11:10	1h			
		<b>【病気や障害を当事者はどんな風に感じ体験してきたの?】</b> 生まれた経過〜二次障害まで学校・職場・医療機関等での体験を地域で生きる女性の障害者の視点からお話してもらいます。	11:20~12:20	1h			文福事務局長 河上千鶴子
	コミュニケーション技術	<b>【コミュニケーションは双方から】</b> コミュニケーションに大事なことは何だろう。障害者の人はどう感じているのかな?	13:20~14:20	1h		文福管理者 福田文恵	
		<b>【出会いと勘違いと失敗をいっぱいしよう!】</b> 言語障害がある障害者。戸惑う健常者。でも出会っちゃえば大丈夫。ロールプレーをしながら、一緒にコミュニケーションを楽しもう!	14:20~15:20	1h		障害者スタッフ 福田・大野啓子	
	医療的ケアを必要とする利用者の障害及び支援	<b>【知っていると違う、在宅看護の基礎知識】</b> 在宅生活援助に役立つ看護の基礎知識や、医療的ケアの内容・方法の概略など、お医者さんのお話を聞こう。	15:30~16:30	1h		講義	林整形外科医院 院長 林清通
	緊急時の対応及び危険防止	<b>【命に関わることは普段からちゃんと考えておこう!】</b> 日常に孕む危険とその防止策、病気・障害に関連して利用者・介助者双方で普段から気をつけたらいいこと等を聞いてみよう。	16:40~17:40	1h			
オリエンテーション	交流及び実習の訪問宅の案内・確認と注意事項について	17:40~18:00					
7/3~7/31の1日	重度身体障害者の介護サービス提供現場での実習	<b>【重度訪問介護利用者宅での介助実習】</b> 地域で自立生活している利用者宅を訪問。利用者によって介助の内容も方法もペースも異なるので、利用者の指示に従い個々人に必要な介助を行います。	12:00~21:00の間の3h	3h	実習	文福スタッフ 障害者	

### ◆申し込み方法◆

※別紙申し込み用紙に必要事項をご記入の上、ファックスまたは郵送にてお申し込みください。6月12日(月)必着!!

※追加コース実習は7/3~7/31の間の1日(3h)です。日程は調整します。

◆受講料◆ 全コース4000円 基礎コース2500円 追加コース1500円

◆定員◆ 15名